

令和元年度 第1回瑞浪市化石博物館協議会議事録

日 時 令和元年6月4日(火)
10時30分～12時00分
会 場 瑞浪市化石博物館
レクチャールーム
出席者 <協議会委員>
間宮弘一・大路樹生・松岡敬二・
中山京三
<事務局>
和田光浩・安藤佑介
欠席者 <協議会委員>
西尾京子

1. 委嘱状交付

館長から間宮委員に委嘱状を交付した。

2. あいさつ

館長から委員に挨拶を行った。

3. 協議会会長選出

間宮委員が会長に選出された。

3. 報告事項

平成30年度事業報告について

企画展、講座等平成30年度に実施した各種事業の結果(参加者等)を報告した。

・来館者・講座参加者について

委 員：入館者数の市内と市外の割合をアンケートをとってみて把握したうえで事業を展開した方がいい。

事務局：野外学習地利用者については、届出に住所を書いていただくので今後は統計を取りたい。

委 員：来館者の市内と市外の割合について瑞浪市としてどのような方針でいるのか。

事務局：観光等も考えると市外からの来館者も多くてよいと考えている。

・歳入歳出について

委 員：歳入と歳出のバランスはどうか。

事務局：歳出の方が多いが、最近は講座の参加費等見直しを行っている。

・学校との連携について

委員：一昨年と比べると市内学校との連携が大幅に進んでおり、大変良いと思う。今後も学校の先生と連携し、博物館のPRに役立ててはどうか。

事務局：博物館からの発信だけでなく、明世小の校長先生には校長会等で積極的にPRしていただくようお願いしたい。

4. 協議事項

令和元年度事業計画について

- ・講座等の開催：本年度開催する教室の概要を説明した。

委員：学校との連携を進めるためにも、教員用のイベントを企画してほしい。収蔵庫の見学など、博物館を学校が活用できるような方法を提案した方が良い。

事務局：すでに校長会や理科部会で呼びかけを行っている。広報は十分に行ったと思うため、今後の反応を見たい。

委員：今後も機会を見つけて宣伝していくことが望ましい。また、市内学校はサイエンスワールドの見学は年1回実施しているため、その際に館の案内等をしてはどうか。

事務局：昨年は、サイエンスワールド見学に合わせて土岐小、釜戸小、瑞浪小に利用していただいた。今後もこのような機会でもいいので連携をしていきたい。

委員：酒蔵メーカーなど地元の業者と協働した講座や化石のラベルを使った商品展開をしてみたいか。

事務局：中島酒蔵には化石と解説を提供して瑞浪市の化石について話してもらっている。商品については本年有機和紅茶漬と協働する予定である。

- ・ふるさと納税について：委員からの提案

委員：ふるさと納税の返礼品項目に博物館の案内や特別なワークショップを入れることはできないか。豊橋では、自然史博物館のツアーを返礼品項目に入れ、昨年度は3件の利用があった。市に貢献しているというアピールにもなるため、利用はなくても返礼品リストにあげてはどうか？

事務局：バックヤードツアーも含め検討する。市役所の担当課にも聞いてみるが、数年前は、化石博物館に関連した返礼品も可能ということを知っている。

- ・その他：次回協議会の開催時期について

委員：少なくとも開催の3か月前にはスケジュールを立てたい。

事務局：7月までには開催候補日を提案する。

まとめ

協議会での議論から下記の点を検討する。

①市内小中学校との連携講座について、サイエンスワールド来訪の際に利用していただくなどより安易な利用もできる点をPRしていく。

②ふるさと納税返礼品については、市役所の担当課と協議し、化石博物館のプライベートツアーやバックヤードツアーなどが実施できるか検討する。